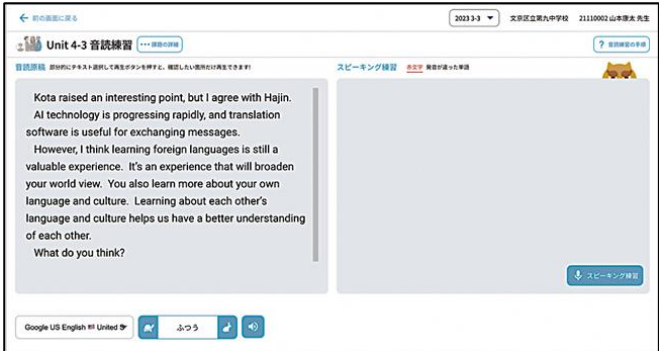


授業のねらい

AI 英語学習プラットフォーム WorldClassroom を活用し、教科書本文の音読を正確にできるようにする。

タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

- WorldClassroom とは、オンライン英語学習・国際交流プラットフォームサービスである。新たにアプリケーションをインストールするのではなく、ブラウザ上で活用できるサービスである。主な機能は音読練習とプレゼン練習の2つとなっている。
- 音読練習ではあらかじめ登録された文章の発音を確認しながら生徒が主体的に練習を進めることができる。左下の再生ボタンを押せば、何度でも手本となる発音を聴くことができる。音声の種類はブラウザに依拠し、たとえば Google Chrome であれば、アメリカ英語、イギリス英語、オーストラリア英語、スペイン訛り、台湾訛り、インドネシア訛り、インド訛りなどの中から選ぶことができ、読み上げの速度や箇所も選択することができる。右下のスピーキング開始ボタンを押して、左側の英文を音読すれば、自分の読み上げた英文が表示されていき、最終的に AI が判定した誤発音を赤文字で表示してくれる。英文全体における発音認識率がスコアとして表示され、生徒は自分の発音の精度についてその場で客観的に知ることができる。分からない発音を確認しながら、ハイスコアを目指して音読習慣を定着させることができる。



- 生徒が練習した回数とスコアは記録され、グラフとして表示される。これにより、練習状況やスコアの伸びについて確認することができる。教師も生徒も取り組み状況を瞬時に確認することができるようになっている。



生徒の様子

- 具体的な目標数値ができたことで、明らかに生徒は積極的に音読練習に取り組むようになった。分からない発音箇所を何度も確認しながら発音練習に取り組んでいる生徒が多かった。音読練習をゲーム感覚で取り組んだり、友人と競い合いながら行うことができたりと、これまでの音読練習とは大いに異なる形となった。また、これまでは音読の回数を確保するために教師が様々な手法を用いていたが、もはやその必要はなくなり、具体的な目標数値を達成しようと生徒が主体的に回数をこなすようになった。

成果

- 元々英語の得意な生徒は数回で目標を達成することができ、苦手な生徒は満足のいくまでチャレンジすることができるため、まさに個別最適化された音読練習といえる。

課題

- あくまで単語レベルでの発音判定であり、流暢さ等を判定するものではない。